

特集●感染症再見

〈死亡者数最大の感染症：肺炎〉

肺炎死亡の現状と動向——国立感染症研究所感染症情報センター 大日 康史, 菅原 民枝

高齢者の肺炎の特徴——札幌医科大学医学部医学科臨床医学部門講座内科第3講座教授 高橋 弘毅

高齢者の肺炎予防——東北大学大学院医学系研究科先進感染症予防学寄附講座教授 山谷 睦雄

インフルエンザ菌感染症——東北大学大学院医学系研究科臨床微生物解析治療学 矢野 寿一

肺炎球菌感染症——国立感染症研究所細菌部 和田 昭仁

黄色ブドウ球菌感染症——順天堂大学大学院医学系研究科感染防御学 上原 由紀, 平松 啓一

〈国内発生している致死率の高い感染症〉

劇症型溶血性レンサ球菌感染症——国立感染症研究所細菌第一部 池辺 忠義

ビブリオ・バルニフィカス菌感染症——熊本中央病院皮膚科部長 古城八寿子

●視点

財政不如意の時、この時だからこそ将来に夢をつなぐ仕事を——(財)大阪公衆衛生協会会長 矢内 純吉

●新連載

精神保健の基礎知識—地域保健従事者のために——国立精神・神経センター精神保健研究所 竹島 正

あ と が き

『百歳まで生き、ガンで死のう。』これは、胃のX線二重造影法の開発者の1人である市川平三郎先生(国立がんセンター名誉院長)の著書の題名です。1992年初版の単行本ですが、書棚に見える背表紙は、当時よりも現在のほうが存在感を増しています。日本人の2人に1人ががん罹る時代を迎えた今、がん予防戦略の目標は、生涯を通じてがん罹らないようにすることではなく、がん罹る(または、がんで亡くなる)年齢をできるだけ先送りするという視点が重要であることを再認識させてくれる題名です。

今回の特集では、がんの1次予防と2次予防に焦点を当てましたが、この分野の研究が急速に進んでいることを実感できる内容となりました。発がん要因として特定の微生物

物の関与が明らかなもの(HPVを原因とする子宮頸がんなど)については、罹患年齢の先送りはもちろん、罹患ゼロを目標に掲げることも可能となるかもしれません。

その一方で、新たな課題も多いことがわかりました。小中学生を対象としたHPVワクチンの接種については、性教育のあり方や産婦人科以外の医療関係者の協力などが課題となりそうです。小児期からの医療被曝や電磁波の長期影響に関する研究はこれからです。胃がん検診については、読影医の後継者不足により、X線二重造影法の継続に黄信号が点滅しています。これに代わる新たな検診システムの開発研究が進行中ですが、市川先生からも褒めていただけるような、高い精度と受診率が得られる方法の開発が望まれるところです。(阿彦忠之)

公衆衛生(第73巻 第12号) 2009年12月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,415 円(本体 2,300 円 + 税 5%)

(2009 年年ぎめ予約購読料 28,200 円 電子ジャーナル閲覧オプション付 36,700 円 ※配送料弊社負担)

発行：株式会社 医学書院 代表者 金原 優 ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室(担当/野中・今田)：直通 TEL (03)3817-5718 FAX (03)3815-7802 E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp

販売部：直通 TEL (03)3817-5659・5660 FAX (03)3815-7804 振替口座：00170-9-96693 番

印刷所：三美印刷(株) TEL (03)3803-3131

広告申込所：(有)メディカ・アド TEL (03)5776-1853 デザイン：デザイン・プレイス TEL (03)6426-7805

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2009, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田羅浩三 大阪大学名誉教授・放送大学教授

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部次長・山形県衛生研究所長

品川 靖子 前 東京都文京区保健衛生部・文京保健所保健サービスセンター所長

高島毛敏雄 大阪大学大学院医学系研究科特任教授

西田 茂樹 福島県衛生研究所長